

算 数

1 調査結果の概要

受検者数(人)	平均通過率(%)	標準偏差	通過設問率が70%以上の生徒
17,656	69.3	21.6	61.3

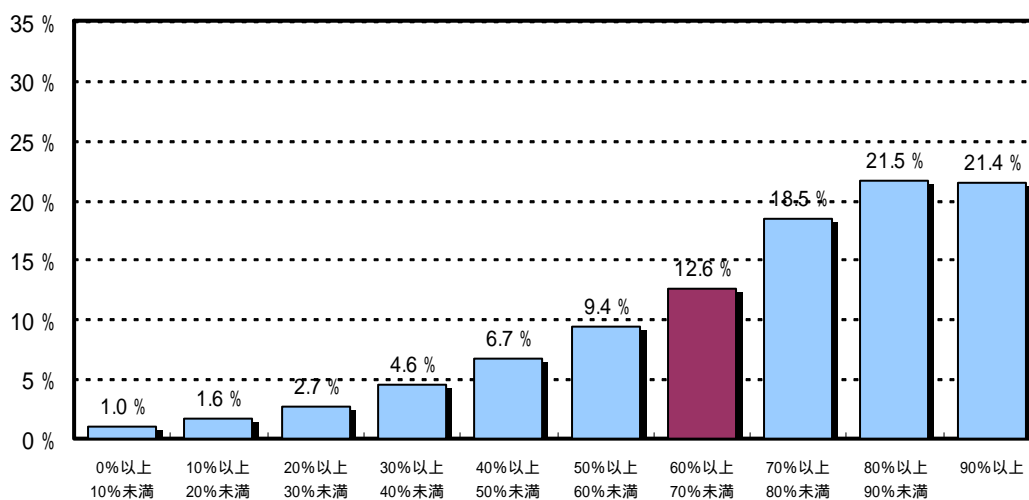
おおむね良好な点

- 異分母分数の加法，除法ができること
- 小数の意味を理解すること
- 平行線の性質や立体図形の平面の位置関係を理解すること
- 数量の関係を式化すること及び式をよみとること

不十分またはやや不十分な点

- 小数の除法を用いる問題で演算を決定し立式すること
- 小数，分数の大小を比較すること
- 面積を求めた過程を説明すること
- 立体の頂点の位置関係を理解すること

【通過設問率の度数割合のグラフ】

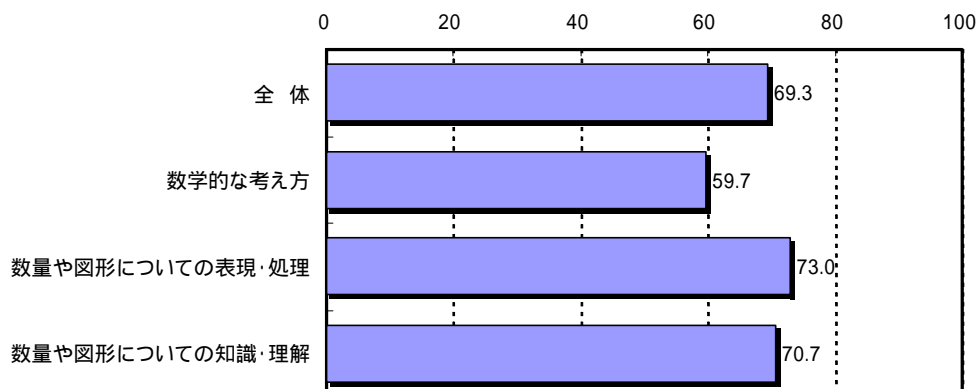


濃色部分は平均通過率の含まれる度数を示す。

算数科では，通過率の度数分布を見ると，通過率が高くなるにしたがって，各度数域に含まれる人数が多くなっており，二極化の傾向は見られない。平均通過率が70%以上の生徒が，全体の約60%であり，算数の学習到達状況は，おおむね良好といえる。しかし，全体の約10%以下ではあるが，通過率がかなり低い生徒もあり，習熟の程度に差が見られる。

2 学力観点別状況の分析・考察・指導のポイント

【学力観点別平均通過率のグラフ(%)】



(1) 「数学的な考え方」

小数の除法を用いて解決する問題において立式することや複合図形の面積の求め方を式に表現して説明する問題で誤答及び無解答が多い。指導にあたっては、単に問題を解くのではなく、どうしてそのように考えたのかを図、式、言葉などを用いて説明する場を充実させることが大切である。「表現・処理」、「知識・理解」の観点と比較して、正答している生徒と誤答している生徒のばらつきが大きいことから、練り上げが一部の生徒によって行われがちなのではないかと予想される。

指導にあたっては、自分の考えをノートに書かせたり、解答が未完成な段階でも積極的に取り上げ、集団で話し合いながら考えをまとめていくような授業を充実させたりする必要がある。

(2) 「数量や図形についての表現・処理」

平均通過率は73.0%で、計算の技能はおおむね定着している。円の面積も約80%の生徒が正しく求積できている。しかし、考えたことを式で表現することを苦手とする生徒が多い。

指導にあたっては、形式的な計算練習に終始するのではなく、計算の意味を十分理解することを丁寧に指導したい。また、計算間違いをする生徒は、計算手続きをまったく理解していないのではなく、その一部分を間違えて学習している場合が多いので、生徒がどこでつまづいているのかを的確に把握した指導が大切である。

(3) 「数量や図形についての知識・理解」

平均通過率は70.7%で、十進位取り記数法に基づいた小数の理解及び立方体の平面の位置関係の理解はおおむねできている。しかし、小数と分数の大小関係や立方体の頂点の位置関係の理解は不十分である。

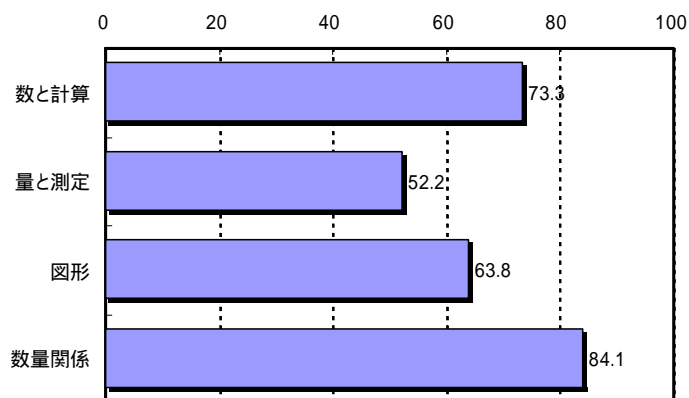
指導にあたっては、整数、小数、分数を数直線に表したり、立体を展開したりするなどの作業的な活動を重視する必要がある。

3 学習領域別状況の分析・考察・指導のポイント

(1) 「数と計算」

平均通過率は73.3%で、計算技能はおおむね良好であるが、問題から演算を決定し立式することは不十分である。数と計算領域については、「計算の意味について理解し、計算の仕方を考え、用いる」ことが重視されている。小数の除法の立式をする問題の通過率がかなり低いことから、特に、計算の意味を理解する指導の充実が望まれる。

【学習領域別平均通過率のグラフ(%)】



(2) 「量と測定」

平均通過率が52.2%と低いのは、複合図形の面積の求め方を示す図をかいたり、それを式に表現したりする問題の通過率が低かったためである。円の面積は、全体の76.8%が正しく求められている。出題した問題数が少ないために、一概にこの領域が他の領域と比較して低いとは言えないが、量と測定の領域の指導にあたっては、特に量の大きさについての感覚を豊かにすることが重要である。例えば、量の基本となる単位の大きさを自分の体の部分など身近なものを使って表す活動や1kgの砂袋づくり、また、1m²の面積を新聞紙で作る活動などを積極的に取り入れた指導計画を立てることが大切である。

(3) 「図形」

平均通過率は、63.8%である。立体図形の平面の位置関係及び平行線と直線が作る角についてはおおむね理解できているが、立体の頂点の位置関係の理解と平面図形の対角線の性質についての理解は不十分である。対角線がどのように交わるかについての設問での通過率が16.8%と極端に低いことから、図形の性質を理解する際には、作図をしたり、実際にその形を折り紙などで作ったりする活動を通して、図形の持つ性質を生徒が自ら発見していく授業を大切にする必要がある。

(4) 「数量関係」

数量関係の領域では、「関数の考え」「式で表すことと式をよむこと」「統計的な処理」の三つが主な学習内容となっている。今回の調査では、式で表すことと式をよむことの調査を実施した結果、平均通過率は84.1%でおおむね良好といえる。数量関係の領域の学習は、第3学年から学習指導要領に位置付けられているが、低学年の算数の学習においても関数的な見方や考え方、式の表現とよみ、統計的な処理についての素地的な指導が望まれる。

4 設問別の分析・考察・指導のポイント

問題番号		出題の内容	評価の観点			通過率 (%)	= 出題のねらい, = 分析, = 指導のポイント
大問	小問		考え方	表現・処理	知識・理解		
1	(1)	小数の乗法・除法, 異分母分数の加法・除法				78.3	<p>小数の乗法の計算をすることができる。 約8割の生徒が正解しており, おおむね良好である。 9.4%の生徒が, 74.4や0.744など, 小数点の位置を間違えている。 整数の乗法の技能の習熟を図ること及び小数の意味を理解する指導が引き続き必要である。特に, 小数が, これまでの整数の十進位取り記数法の考えを1より小さい数に拡張して用いていることを十分に理解させることや計算結果がどのくらいになるか見通しを持たせる習慣をつける必要がある。</p>
	(2)					73.5	<p>小数の除法の計算をすることができる。 19.9%の生徒が, 小数点の位置を間違えている。 形式的な計算練習のみを行うのではなく, 小数の乗法と同様に, 小数の意味や計算結果を見積もるなどの指導を意識して行うことが大切である。また, 被除数と除数に同じ数をかけても商は変わらないことや除数が1より小さい場合, 商は被除数より大きくなるという性質を十分に理解させる必要がある。</p>
	(3)					81.3	<p>異分母分数の加法の計算をすることができる。 約8割の生徒が正答しており, 異分母分数の加法はおおむね定着していると考えられる。 全体の約2%に満たないが, 分母同士, 分子同士をそのままたして計算した生徒もいる。 異分母分数の加法, 減法が, 同分母分数の加法や減法の考え方を基にして, 分母を同じにして計算すればよいことに着目できるようにする。通分の指導は, 形式的に方法を指導するのではなく, 通分の学習を通して, 分数を単位分数の幾つ分と見ることができるようになることが大切である。</p>
	(4)					85.4	<p>異分母分数の除法の計算ができる。 異分母分数の除法の計算もおおむね定着しているといえる。 分数の除法は, 除数の逆数をかければよいという形式的な計算方法を暗記するのではなく, なぜそのようにすればよいのかを数直線や図, 計算法則を用いて考える過程を大切に授業を展開することが必要である。</p>
2	(1)	小数の意味と表し方				87.0	<p>小数が整数の十進位取り記数法と同じ仕組みでできていることを理解している。 小数の意味については, おおむね理解できているといえる。 第4学年までに十進位取り記数法の仕組みを十分に理解させることが大切である。また, 数直線や線分図を書くなどの活動を大切にすることが必要である。</p>
	(2)					84.8	<p>小数を100倍した数の表し方を理解している。 約15%の生徒は, 答えの小数点の位置を間違えたものと予想される。 小数を数直線上に表し, 整数と同じ系列の中に位置付ける活動を重視するなど, 小数の意味の理解を深める指導の工夫が必要である。</p>

問題番号		出題の内容	評価の観点			通過率 (%)	= 出題のねらい, = 分析, = 指導のポイント
大問	小問		考え方	表現・処理	知識・理解		
2	(3)	小数の意味と表し方				93.3	<p>小数の相対的な大きさについて理解している。 小数の相対的な大きさについては、十分理解できている。 小数をある単位の幾つ分と見る見方は、小数の意味の理解を深めるだけでなく、小数の乗除計算の仕方を考える際に有効に働く考え方であるため、引き続き、小数を相対的に見る活動を充実させることが大切である。</p>
3		小数の除法計算の立式				35.6	<p>小数の除法を用いる問題の立式ができる。 40.3%の生徒が、問題文に出てくる順番に意味を考えずに、$3.5 \div 2.8$と立式している。通過率は、35.6%で非常に低い。 まず、小数の除法の意味の理解を深めるようにする。立式する際には、言葉の式や公式に当てはめるだけでなく、数直線や図などを用いたり、数量の関係を具体的な場面に当てはめて調べたりする活動を行うことが大切である。また、はじめに乗法の式で表してから、除法で求めるという考えを用いたり、問題の小数部分を整数に置き換えて演算を決定したりする考え方なども指導する必要がある。</p>
4		最小公倍数の活用				71.0	<p>最小公倍数を用いて、問題が解決できる。 最小公倍数の形式的な意味の理解はできていると思われるが、その活用は十分とはいえない。6.9%が48と解答している。 約数、倍数の考え方は、分数の通分や約分をする際に必要な考え方であり、日常生活の場面で適用するような指導を充実させることが必要である。問題を解決したらどのように考えたのかを学級全体で話し合う時間の充実を図る必要がある。</p>
5	(1)	小数及び分数の大小比較				58.9	<p>小数と分数の大きさについて理解している。 約4割の生徒は、大きい順に並べることができていない。 小数及び分数を数直線上に表す活動や小数を分数で、逆に、分数を小数で表すなどの活動が必要である。</p>
	(2)					56.7	<p>分数の大きさについて理解している。 約4割の生徒が誤答しており、分数の大きさについての理解は低い。 線分図を使って等しい分数を作るなどの活動を丁寧に扱う必要がある。</p>
6	(1)	円及び複合図形の面積				76.8	<p>円の面積を求めることができる。 誤答が約2割ある。その大部分が、小数点の位置を間違えたり、円周を求めたりしたものと思われる。 単に面積を求める公式を記憶するだけでなく、面積の求め方を考える過程を大切にすることが必要である。また、基本となる長さや面積を示したり、だいたいの大きさを判断したりするなどの長さや面積に対する豊かな感覚を育てる指導を重視する必要がある。</p>

問題番号		出題の内容	評価の観点			通過率 (%)	= 出題のねらい, = 分析, = 指導のポイント
大問	小問		考え方	表現・処理	知識・理解		
6	(2) 図	円及び複合図形の面積				51.7	<p>複合図形を既習図形に分割して面積を求める方法を考えることができる。 通過率は約5割で低い。また、全体の約2割が無解答であり、考え方を記述する問題では、最初からあきらめてしまう傾向がうかがえる。パターンブロックなどの教具を低学年のときから随時使い、図形に対する豊かな感覚を育成する活動を充実させる必要がある。</p>
	(2) 式					28.2	<p>複合図形を既習図形に分割して面積を求める方法を式に表現できる。 通過率は約3割と非常に低い。求め方を表す図を正答した生徒の3分の1は、式化できていない。平行四辺形や三角形に分割はできても底辺や高さが読み取れない生徒が多いと予想される。 自分の考えを式に表したり、式からその意味を読み取ったりする活動を丁寧に行うことが大切である。</p>
7	(1)	立方体の展開図				65.8	<p>立方体の頂点の位置関係を理解している。 展開図から立方体の頂点の位置関係をイメージしにくい生徒が多い。 立方体の頂点に印を付け、それを切り開いたり、組み立てたりしながら、どこの頂点が一致するのかを実際に確かめる活動を丁寧に行う必要がある。</p>
	(2)					88.0	<p>立方体の平面の位置関係を理解している。 通過率は約9割で、立方体の平面の位置関係は、よく理解できている。 立方体の展開図を書いたり、展開図から実際に立方体を組み立てたりするなどの活動を引き続き丁寧に扱うことが大切である。頂点の位置関係と同様に、作業的な活動を通して、図形についての豊かな感覚を育てる指導が大切である。</p>
8	(1)	平面図形の性質				16.8	<p>平面図形の対角線がどのように交わるか理解している。 通過率が約2割と非常に低い。平行四辺形や長方形を選択した生徒がかなりいたものと予想される。 図形の性質の理解は、図形に直接働きかけてこそ理解できるものであり、図形をかいたり、かいた図形を切って、折ったり重ねたりする作業的な活動を重視する必要がある。特に、平面図形を考察する際には、ずらす、回す、裏返すといった操作が十分にできているかを確認することが大切である。</p>
	(2)					84.5	<p>平行線と1本の直線が交わってできる角について理解している。 通過率は約8割を超えており、平行線とそれに交わる1本の直線が作る角の大きさの関係については、よく理解できている。 実際に平行線に1本の直線を交わらせ、分度器で角度を測るなどの活動を引き続き丁寧に行うことが大切である。</p>

問題番号		出題の内容	評価の観点			通過率 (%)	= 出題のねらい, = 分析, = 指導のポイント
大問	小問		考え方	表現・処理	知識・理解		
9	(1)	変わり方のきまり				80.4	図から求め方を表す式を考えることができる。 約8割の生徒が正答しており、おむね良好である。 数量の関係を式に表す活動を引き続き大切に扱う。
	(2)					87.7	マッチ棒の数を求める式をよむことができる。 約9割の生徒が正答しており、数量の関係を表した式を具体的な図に読み取することはよくできている。 数量の関係を式に表したり、逆に、式から数量の関係を読み取ったりする学習は数量関係の領域では重要な指導となる。引き続き、丁寧な指導が期待される。

5 小学校・中学校における指導のポイント

算数・数学は、創造性の基礎を培うことが目標である。創造性の基礎を育成することは、大きく言えば、多面的にものを考える力と論理的に考える力を育成することであり、これは「数学的な考え方」の育成に他ならない。今回の調査でも、考えを言葉や式で説明することや数学的な考え方を問う問題の通過率が低い傾向がうかがえることから、算数・数学を指導するに当たっては、問題解決の学習を通して、数量や図形についての基礎的な知識と技能を確実に身に付けさせる、他の児童生徒と話し合う活動を重視し、他の児童生徒の考え方を理解したり、自分の考えを表現したりする活動を重視する、児童生徒の学習状況や興味・関心などに応じた指導の充実を図るなどの工夫が大切である。

「小学校」

今回の調査の全体的な状況を見ると、計算技能の問題などは、おおむね良好な状況であるが、問題文から演算を決定し立式する問題や、考えを式で表現する問題などは、通過率が低く、習熟の程度の差も大きい。したがって、算数の指導に当たっては、引き続き算数的活動の充実を図り、数量や図形についての豊かな感覚を育て、単なる形式的な計算技能の習得の学習に終わることなく、計算や数量の意味を実際の場面と結びつけて理解させることが大切である。特に、数量の関係や図形の性質など、作業的、体験的な活動を通して理解したり、根拠を持って説明したりするような授業の充実が望まれる。

「中学校」

「確かな学力」として求められている思考力、表現力、判断力等の力の育成は数学の授業のねらいそのものである。したがって、知識・技能の習得だけでなく、思考力などを含めてバランスよく指導する必要がある。実際の授業では、目標を明確にし、「授業の振り返り」を大切に、授業のまとめでは目標に沿って学習した事柄は、どのような数学的な意味があるのか等を考えさせるなど、単に知識・技能の習得に終わらないことに留意したい。特に、生徒が「なぜその解き方をするのか」「どうしてその解になるのか」など、根拠を明らかにしながら説明したり検討したりする場を設定することが大切である。

1 次の計算をしましょう。

【通過率】
78.3% (1) 9.3×0.8 7.44

【通過率】
73.5% (2) $14 \div 0.7$ 20

【通過率】
81.3% (3) $\frac{5}{6} + \frac{3}{8}$ $\frac{29}{24}$

【通過率】
85.4% (4) $\frac{2}{7} \div \frac{3}{4}$ $\frac{8}{21}$

2 次の () にあてはまる数を求めましょう。

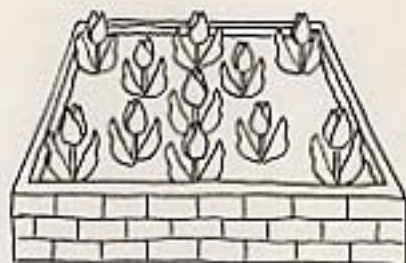
【通過率】
87.0% (1) 10が5個、1が3個、0.1が2個集まった数は (53.2) です。

【通過率】
84.8% (2) 25の100倍の数は (250) です。

【通過率】
93.3% (3) 3.14は、0.01を (314) 個集めた数です。

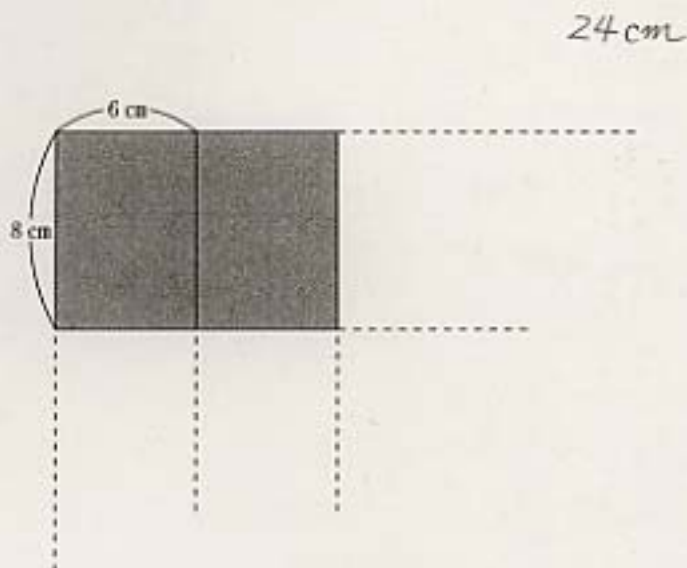
3 面積が 3.5m^2 の花だんがあります。この花だんの花を育てるためには、肥料が
【通過率】
35.6% 2.8kg必要だそうです。同じ割合で肥料が必要だとすると、面積が 1m^2 の花だんで
は、何kgの肥料を用意すればよいでしょうか。答えを求める式を書きましょう。
(計算する必要はありません。)

$$2.8 \div 3.5$$



4 たて 8 cm, 横 6 cm の長方形のカードを, 次の図のようにすきまなくならべて正方形【通過率】
形を作ります。

71.0% このようにしてできる正方形の中で, 一番小さい正方形の一辺の長さは何 cm でしよう。



5 次の(1), (2)の問いに答えましょう。

(1) 次の数を大きい順に並べたときに, 大きい方から 3 番目になる数を書きましょう。

【通過率】

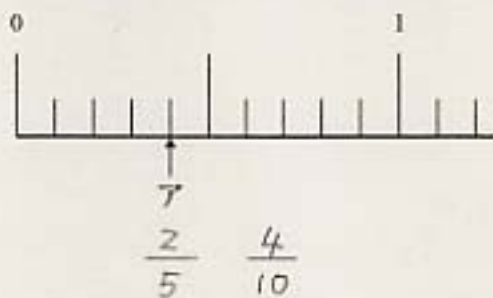
58.9%

1.2 0.75 $\frac{3}{5}$ $\frac{7}{4}$ $1\frac{1}{2}$ 1.2

(2) 次の数直線のアが示している数を分数で書きましょう。

【通過率】

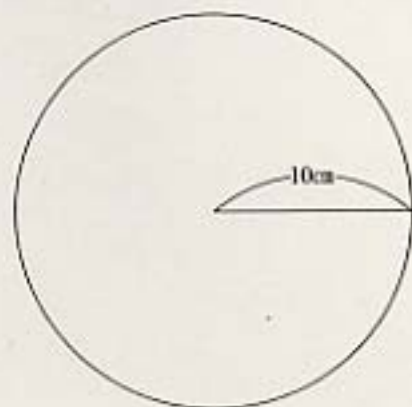
56.8%



6 次の(1), (2)の問いに答えましょう。

(1) 半径が10cmの円の面積を求めましょう。ただし、円周率は3.14とします。

【通過率】
76.8%

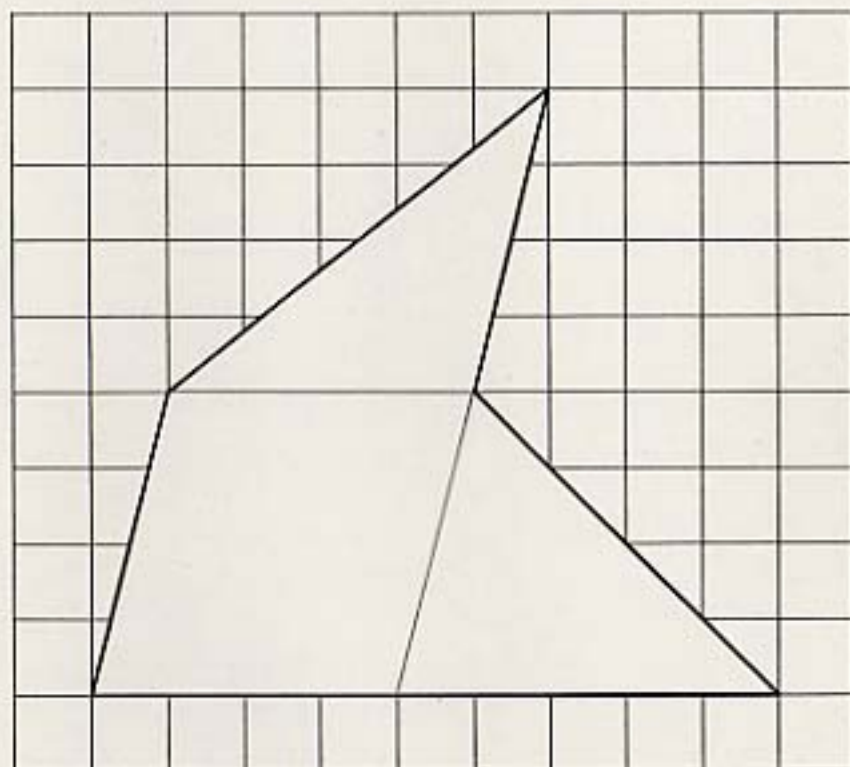


314 cm²

(2) 方眼用紙にかかれた図形の面積を求めます。どのようにすれば、面積を求める

【通過率】 51.7% ことができるでしょうか。求め方が分かるように、解答用紙の図に線をかき入れ

【通過率】 28.2% もりは1cmとします。



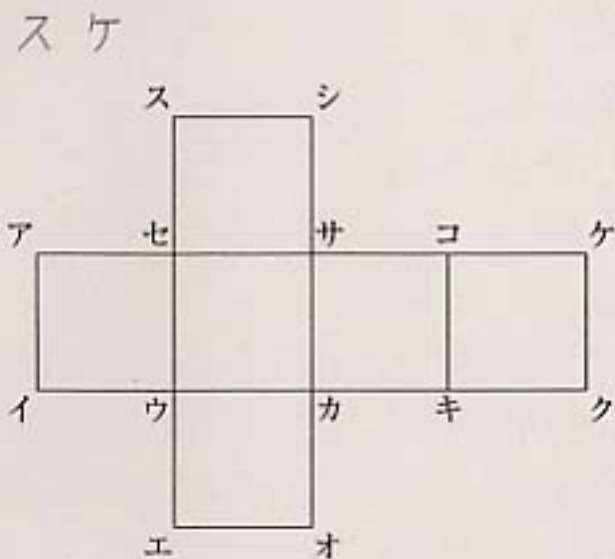
$$4 \times 4 \times \frac{1}{2} + 4 \times 4 + 5 \times 4 \times \frac{1}{2}$$

7 立方体の展開図について、次の(1)、(2)の問いに答えましょう。

(1) 次の展開図を組み立てたとき、点アと同じ頂点になる点を全部選んで、その記

【通過率】号を書きましょう。

65.8%

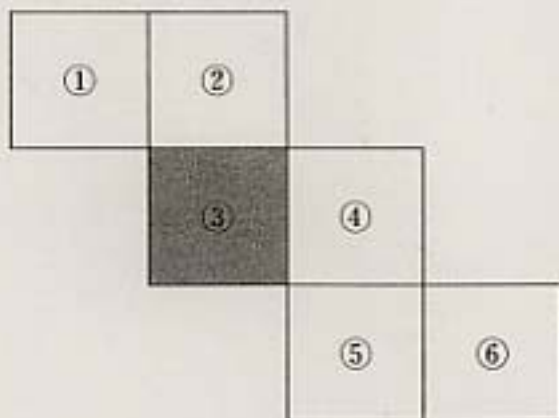


(2) 次の展開図を組み立てたとき、③の面と平行になる面は、どの面ですか。面の

【通過率】番号を書きましょう。

88.0%

⑥



8 次の(1), (2)の問いに答えましょう。

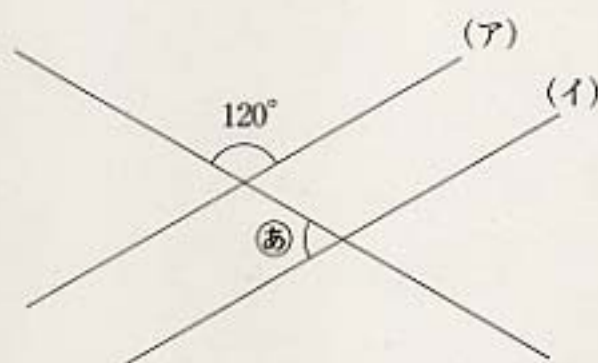
(1) ①長方形, ②正方形, ③ひし形, ④平行四辺形, ⑤台形の中で, 対角線がいつ
【通過率】も直角に交わる図形を全部選んで, その番号を書きましょう。
16.8%



(上の図は, 長方形, 正方形, ひし形, 平行四辺形, 台形の代表的な形を表しています。)

②, ③

(2) 3本の直線が次のように交わっています。直線(ア)と直線(イ)は, 平行に
【通過率】なっています。角(あ)は何度になるでしょう。 60°
84.5%



- 9 マッチ棒を使って、次の図のように正方形を横に並べた形を作ります。



太郎さんと花子さんが、正方形が5個のときのマッチ棒の本数の求め方を考えています。次の(1), (2)の問いに答えましょう。

- (1) 太郎さんは、下の図のように考えています。太郎さんの求め方を表す式を書き【通過率】
80.4% きましょう。



$$4 + 3 \times 4$$

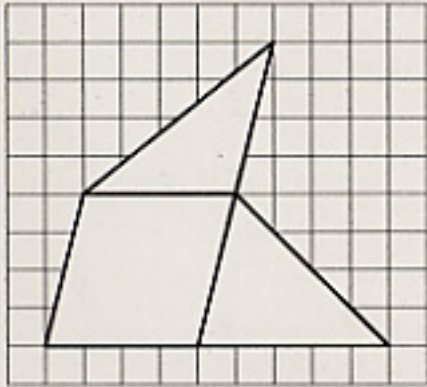
- (2) 花子さんは、 $1 + 3 \times 5$ という式で求めました。花子さんの求め方を表した図【通過率】
87.7% きましょう。



正誤欄凡例(○=正答, △=準正答, ×=誤答)

通し 番号	問題番号	評価の観点			解答類型	転記す る番号	正誤
		考	表	処			
1	(1)			○	7.44	1	○
					小数点の位置が違うもの	2	×
					上記以外の解答	9	×
					無解答	0	×
2	(2)			○	20	1	○
					小数点の位置が違うもの	2	×
					上記以外の解答	9	×
					無解答	0	×
3	(3)			○	$\frac{29}{24}$ または, 1 と $\frac{5}{24}$	1	○
					$\frac{58}{48}$ または, 1 と $\frac{10}{48}$	2	△
					$\frac{8}{14}$ または, $\frac{4}{7}$	3	×
					上記以外の解答	9	×
					無解答	0	×
4	(4)			○	$\frac{8}{21}$	1	○
					$\frac{3}{14}$ または, $\frac{6}{28}$	2	×
					上記以外の解答	9	×
					無解答	0	×
5	(1)			○	53.2	1	○
					上記以外の解答	9	×
					無解答	0	×
6	(2)			○	250	1	○
					上記以外の解答	9	×
					無解答	0	×
7	(3)			○	314	1	○
					上記以外の解答	9	×
					無解答	0	×
8				○	28÷3.5 ※立式が合っていれば, 計算結果の正誤は問わ ない。また, 「28÷3.5=」も許容する。	1	○
					3.5÷2.8	2	×
					上記以外の解答	9	×
					無解答	0	×

正誤欄凡例(○=正答, △=準正答, ×=誤答)

通し 番号	問題番号	評価の観点			解答 種類	転記す る番号	正誤
		考	表	知・理			
9	4 最小公 倍数の 活用			○	24	1	○
					48	2	×
					上記以外の解答	9	×
					無解答	0	×
10	(1)			○	12	1	○
					上記以外の解答	9	×
					無解答	0	×
11	5 小数及 び分数 の大小 比較	(2)		○	$\frac{2}{5}$	1	○
					$\frac{4}{10}$	2	○
					$\frac{4}{5}$	3	×
					上記以外の解答	9	×
					無解答	0	×
12	(1)			○	314	1	○
					上記以外の解答	9	×
					無解答	0	×
13	6 円及び 複合図 形の面 積	(2)		○	求め方を表す図	1	○
					(図の例)		
							
					※上の図のように、三角形と平行四辺形などに分割するなどして求めていけばよい。		
上記以外の解答	9	×					
無解答	0	×					
14				○	(式の例)	1	○
					$4 \times 4 \times \frac{1}{2} + 4 \times 4 + 5 \times 4 \times \frac{1}{2}$		
					※求め方を表す図に従って正しく立式できていけばよい。(立式ができていけば、計算結果の正誤は問わない。)		
上記以外の解答	9	×					
無解答	0	×					

正誤欄凡例(○=正答, △=準正答, ×=誤答)

通し 番号	問題番号	評価の観点			解答類型	転記す る番号	正誤	
		考	表	処知・理				
15	7 立方体 の展開 図	(1)			○	ス, ケ ※順番は問わない。点ス, 点ケ などでもよい。	1	○
						ス ※点ス など, スのみを記述しているもの。	2	△
						ケ ※点ケ など, ケのみを記述しているもの。	3	△
						上記以外の解答	9	×
						無解答	0	×
16	(2)				○	⑥(6でもよい)	1	○
						上記以外の解答	9	×
						無解答	0	×
17	8 平面図 形の性 質	(1)			○	②, ③ ※数字に○が付いているかどうかや, 順番は問 わない。	1	○
						上記以外の解答	9	×
						無解答	0	×
18	(2)				○	60	1	○
						上記以外の解答	9	×
						無解答	0	×
19	9 変わり 方のき まり	(1)	求め 方を 表す 式		○	・ $4+3\times 4$ または $3\times 4+4$ ・ $4+3+3+3+3$ または $3+3+3+3+4$ ※4を一つ, 3を四つたしているものであれば, たす順番が違っていても許容する。 ・ $4+4\times 3$ または $4\times 3+4$	1	○
						上記以外の解答	9	×
						無解答	0	×
20	(2)				○	②(2でもよい)	1	○
						上記以外の解答	9	×
						無解答	0	×

設問別：通過率と反応率

算 数

問題番号		正答率	通過率	解答類型ごとの反応率（全県）										
大問	小問			1	2	3	4	5	6	7	8	9（その他の誤答）	無解答	
1	1	78.3	78.3	78.3	9.4								11.4	1.0
	2	73.5	73.5	73.5	19.9								4.9	1.7
	3	80.3	81.3	80.3	1.0	1.6							14.9	2.1
	4	85.4	85.4	85.4	1.7								10.1	2.8
2	1	87.0	87.0	87.0									11.7	1.3
	2	84.8	84.8	84.8									14.1	1.1
	3	93.3	93.3	93.3									5.6	1.1
3		35.6	35.6	35.6	40.3								18.5	5.7
4		71.0	71.0	71.0	6.9								18.2	4.0
5	1	58.9	58.9	58.9									39.0	2.1
	2	56.8	56.8	29.8	26.9	4.7							36.0	2.5
6	1	76.8	76.8	76.8									19.5	3.8
	2	求め方を表す図	51.7	51.7	51.7								26.1	22.2
	2	式	28.2	28.2	28.2								54.7	17.2
7	1	64.4	65.8	64.4	0.7	0.7							31.9	2.2
	2	88.0	88.0	88.0									10.6	1.4
8	1	16.8	16.8	16.8									80.3	2.9
	2	84.5	84.5	84.5									13.1	2.4
9	1	求め方を表す式	80.4	80.4	80.4								13.6	6.0
	2		87.7	87.7	87.7								9.8	2.5

選択肢(解答類型)が白抜きになっている選択肢は「正答」の選択肢であることを示しています。網掛けの選択肢は「準正答」の選択肢であることを示しています。